

3月7日：ベトナム株は2日続伸

ベトナム株は火曜日に上昇した。流動性が改善したが、不動産セクターは月曜日の上昇から落ち着いた動きになった。

ホーチミン取引所のVN指数は2日続伸した。VN指数は1.04%高の1,037.84ポイントで取引を終えた。月曜日に同指数は0.24%高となっていた。

216銘柄が上昇したのに対して178銘柄が下落した。

セクター別では、25セクター中の21セクターが上昇した。最も上昇したのは建設資材セクターで、3.1%高、それに証券(2.6%高)、銀行(1.3%高)が続いた。

建設資材セクターでは、ホアファットグループ(HPG)、ホアセングループ(HSG)、ナムキムグループ(NKG)が上昇した。

銀行セクターも上昇し、VN指数を大きく押し上げた。

不動産セクターは月曜日の上昇から落ち着いた動きとなった。ノブランド不動産(NVL)が1.8%安、ダットサイングループ(DXG)が2.8%安となった。前日の月曜日にはストップ高まで上昇した。PDR、VHMは上昇したが、1%以下の上昇だった。

MB証券のシニアコンサルタントのHoang Anh Tuan氏によると、短期的には上昇は起きにくい。これはFRBの利上げが主な原因となる。また、為替市場のプレッシャーがベトナムの利下げを困難にするだろう。

不動産セクターは2024年末までは停滞が続くと予想される。過去を見ると2-3年の停滞期間があるからである。

最近では、不動産市場が落ち着いてきており、反発は単なる大きな下落後のテクニカル反発であると同氏は語った。

ハノイ取引所のHNX指数も2日続伸、0.46%高の207.50ポイントで取引を終えた。

流動性は改善し、出来高は5.18億株、売買代金は9兆ドンだった。

外国人投資家は 14 営業日ぶりに買い越しに転じた。両市場合わせて 2,100 億ドルを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。